

地域から日本を変える Local Initiatives Transform Japan

サポーターズタイムズ

Supporters Times


 2005年(平成17年) 11月1日(毎月1日発行) **No. 124**

 発行所
秋葉けんやサポーターズ事務所
 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈 4-17-16
 Tel 022 (375) 4477
 Fax 022 (375) 0057
 E-mail:kenya@akiba21.net

 購読料 年額6,000円
 振込先 秋葉けんや後援会
 口座番号 七十七銀行本店(普) 6385206
 仙台銀行黒松支店(普) 2336691
 郵便振替 02290-2-37770
 編集 関アクトジャパン

衆議院議員 秋葉 けんや 政策・活動レポート

若い世代の代表として少子化問題に体当たりで取り組みます!

『月刊世論調査』(内閣府 平成17年8月号)によれば、理想の子供数について、『3人』と答えた者の割合が45.7%と高く、『2人』と答えた者の割合38%を7.7%上回っているのに対し、実際に持てる子供数については、『2人』と答えた者の割合が46.1%で『3人』と答えた者の割合25.6%を20.5%も大きく上回っています。

このような調査結果は、日本において進行している出生率の低下(2004年は1.26)の傾向にも顕著に現れています。

日本の将来を考える上で避けることのできない問題の一つとして私が取り組んでいるのが、少子化問題です。

私は4月の補選で当選させて戴いてから、自民党の若手一回生議員の有志による「少子化対策研究会」にも積極的に参加してきました。その成果として、①家族のつながり、子どもを持ち、育てたいという気持ちを大切にすること(具体的には家庭教育の充足、不妊治療の充実等)、②安心して子どもを産み育てることのできる環境を整えること(具体的には各企業の育児休業の取得率・社員の出産・子育てに関する指標の公表、一時保育の拡大等)、③20代、30代の若い世代の子育てを経済的に支援すること(具体的には児童手当の増額〈現行の3倍〉、育児休業給付の若年低所得層への充実、出産一時金の倍額〈現行の30万円から60万円〉)を3本柱とする「子育て世代からの少子化対策緊急提言」をとりまとめました。


 衆議院議員
 松下政経塾員

秋葉賢也

	①子育てに関わる教育体制の確立	② 社会環境の整備	③若い世代への経済支援
厚生労働省	小児科、産科医師の確保や不妊治療への支援等の母子保健医療対策等総合支援事業→4,114,000,000円	仕事と家庭の両立を支援する事業主へ支援や子育てをする女性の再就職支援の充実→9,705,000,000円	小学校第3学年修了前まで第1・2子に5千円/月第3子以降には1万円/月の児童手当の保証→317,735,000,000円
文部科学省	家庭の役割等に関する学校教育の充実、高校生の保育体験の推進等 →90,000,000円	幼稚園就園奨励費補助や預かり保育推進事業等、就学前の児童教育・保育の充実→24,203,000,000円	若者のキャリア教育実践プロジェクト等、若者の就労支援 →1,079,000,000円
経済産業省		中小企業少子化対応経営普及事業 →108,000,000円 少子高齢化等対応中小企業活性化の施設整備・支援事業→3,032,000,000円	若者の就労支援 →8,071,000,000円

私も3人の子を持つ父親です。同じ若い世代の皆さんが仕事を続けながら
 安心して子どもを産み・育てることのできる社会経済的基盤を構築します!

www.akiba21.net

盟友の村井よしひろさんが宮城県知事に当選 !!

多くの皆様のご支援、心から感謝申し上げます



衆議院内幹事長室にて、村井新知事予定者と!

平成17年10月23日(日) 宮城県知事選挙 結果報告

候補者氏名	得票数
◎村井 嘉浩	363,519
前葉 泰幸	311,406
出浦 秀隆	71,270

せんぎょ手帳

▶「政経塾」出身者が結束

○…無所属の村井嘉浩候補(45)―自民推薦―の心強い味方は、自らも籍を置いた松下政経塾。選挙事務所には塾ののぼりがはためき、塾の先輩である秋葉賢也、小野寺五典両衆院議員が陰に陽に支援する。第一声には恩師の上甲晃・元塾頭も駆け付け、「命がけの志を果たせ」と激励。塾出身の国会議員は増えてきたが、知事はまだ1人。2人目誕生に向け、結束は強まる。

▶河北新報(17・10・7(金))

「革命の本丸」郵政民営化法案が可決しました!



小泉首相が改革の本丸と位置づけてきた郵政民営化関連6法が、10月14日午後の参院本会議で自民、公明の与党の賛成多数により可決、成立致しました。第162回通常国会で同法案に反対・棄権した自民党議員の大半が、今国会では賛成に回ったため34票の差で可決されました。

平成18年度以降の公務員の定員合理化について

10月4日、内閣の機関および各府省の国家公務員定員について、合理化の基本方針と目標数についての閣議決定案が提出されました。これは行政に対する需要の変化に伴ってメリハリのある定員配置を実現するために、公務員の大胆な配置直しを進めるとともに政府全体のさらなる純減の確保をめざす取り組みです。

平成17年度～21年度の5年間で33,230人を合理化

⇒ 平成16年度末定員の10.00%に相当

政府は昨年末に閣議決定した新行革大綱で「5年間で10%以上」を掲げました。しかし新規増員を加味していない削減数実質的な削減に直結しないとの指摘もありました。

そこで政府部門のリストラにさらに踏み込むには新たな目標が必要と判断し、今年度は、5,549人の定員合理化を進め、平成18年度から21年度の4年間で27,681人の定員合理化をはかる計画です。

次期衆院選で秋葉代議士は 比例東北から立候補へ!

= 衆院宮城2区でコストリカ方式の
導入が正式に決定!! =

党本部の決定に従って、中野先生としっかりスクラムを組んで頑張ります。

宮城2区 比例東北

中野氏 秋葉氏

次期衆院選
自民が合意

自民党の秋葉賢也、中野氏らは比例東北(ロッツ野正志両衆院議員と亀岡クの名簿一位、三位に登壇。佐藤剛男両衆院議員は二七位、それぞれ小選挙区と比例代表を交互に入れ替わるコストリカ方式とする)で出陣した。次期衆院選では中野氏が宮城2区、佐藤氏が福島1区の小選挙区から出陣し、秋葉、亀岡両氏は比例(同)名簿上位に登壇されることになる。

(24面に関連記事)

先の衆院選では秋葉氏が宮城2区、亀岡氏が福島1区で当選。中野、佐い、党本部で合意した。

武部勤幹事長、安倍晋三幹事長代理らが立ち会

▶河北新報(17・10・28(金))



国慶節記念式典

党青年局役員として台湾を訪問して参りました

党青年局役員として台湾の国慶節記念式典に出席して参りました。日本と台湾の友好関係を維持し発展させるために、議員間レベルの親善は深まっています。

～日本と台湾の関係はどのような関係にあるの?～

日本と台湾は、1972年の日中国交正常化に伴う、日中共同声明に従い、非政府間の実務関係で維持されています。また台湾は、現在、日本にとって米・中・韓に次ぐ第4位の貿易相手国となっています。

スペースシャトル『ディスカバリー号』飛行結果報告



野口宇宙飛行士と

9月30日、党本部での朝の部会(毎朝8:00より行われている勉強会です)で、「スペースシャトルディスカバリー号の飛行結果について」と題して、JAXA宇宙飛行士野口聡一さんよりご報告を頂きました。

7月26日、23時39分の打ち上げから8月9日、21時11分の帰還まで、14日間の任務の内容や、無事帰還しての感想などをお話し頂きました。



府中刑務所を視察しました

10月3日、東京都府中市にあります府中刑務所を視察してきました。府中刑務所は、収容定員2,842名の国内最大規模の刑務所ですが、現在の収容人数は3,156名と定員をオーバーしている状態です。収容対象はB級受刑者(犯罪傾向が進んだ26歳以上の男子受刑者)と外国人受刑者です。外国人受刑者は557名で全体の約18%を占めています。

高齢者虐待問題議員連盟総会で馳浩先生と

前の国会より継続して取り組んで参りました、高齢者虐待防止法案の成立に向けて、同議員連盟(事務局長・馳浩先生、会長・陣内孝雄先生)の総会に出席しました。

※同法案は10月26日に国会に提出され、10月28日衆議院本会議で全会一致により可決されました。



馳浩先生と

発見! 国会トリビア! vol.6

委員の選任

秋葉代議士は、現在法務委員、文部科学委員、災害対策特別委員に選任されておりますが、今回は、常任委員及び特別委員の選任の方法についてご紹介いたします。

常任委員及び特別委員は、規則上すべて議長が指名することになっていますが、実際には、議長はあらかじめ、各派協議会または議院運営委員会の決定に基づき、各会派の所属議員数の比率により各会派から申し出た者を指名しています。

したがって、委員会における各会派の勢力分布は、全議員で構成されている本会議と、おおむねその比率を同じくしています。

なお、代議士は、法規上少なくとも一つの常任委員となることとなっています。

秋葉 賢也 (あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、43才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。(財)松下政経塾卒塾(宮城県初)。
- 衆議院議員(二期目)、法務委員会委員、文部科学委員会委員、災害対策特別委員会委員、保護司、宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問など多方面で活躍中。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味: 野球・空手などスポーツ、音楽、映画。

